

がん治療と妊よう性

妊よう性とは？

男女問わず「妊娠する力」のことを言います。



がん治療と妊よう性

がんの治療による影響で、治療中だけでなく治療後も、自らの力で子どもを持つことが難しくなる場合があります。

ただし、がん治療すべてに妊よう性低下のリスクがあるわけではありません。ご自身のリスクについては、がん治療医にご確認ください。

妊よう性の温存

生殖医療の進歩により、妊よう性を温存しながら、がん治療に取り組むことが可能になりつつあります。

妊よう性の温存方法

妊よう性温存治療のために、適切ながん治療を行わなかったり、がん治療を遅らせることは望ましくありません。妊よう性温存の治療を行う場合でも行わない場合でも、適切ながん治療を行ってから、妊娠・出産をすることが大切です。

女性	卵子凍結保存	採取した卵子を凍結します
	受精卵凍結保存	採取した卵子を精子と受精させ凍結します
	卵巣凍結保存 ※研究段階	手術により卵巣組織を採取し凍結します
男性	精子凍結保	射精した精子を凍結します
	精巣凍結保存	手術により精巣組織を採取し凍結します

医療費の助成

滋賀県では、がん患者ご本人の妊よう性温存処置に対する助成制度が受けられます。妊よう性温存の処置を受ける時点で県内にお住まいの43歳未満の方が対象です。詳しくは、お問い合わせください。

国保年金あらかると

国保年金課 ☎ (25) 8137
大津年金事務所 ☎ 077 (521) 1789

年金請求の手続きは「予約相談」をご利用ください

全国の年金事務所では年金請求の手続きや年金受給者の方の年金相談の際に、皆さんをお待たせしないための「予約相談」を行っています。

《予約相談の時間帯》

- ◆月曜日：8時30分～18時
※月曜日が祝日の場合は、翌営業日に18時までお受けします。
- ◆火～金曜日：8時30分～16時
(祝日、年末年始は除きます。)
- ◆毎月第2土曜日：9時30分～15時

予約受付専用電話番号
(予約のお申し込み電話番号)

☎0570(05)4890
【ナビダイヤル】

▶電話受付時間

8時30分～17時15分
※土曜日、日曜日、祝日、
および年末年始は除きます。

- ▶「予約相談」希望日の1か月前から前日まで受け付けをしています。※当日の予約はできませんのでご了承ください。
- ▶お申し込みの際は、基礎年金番号が分かる書類（年金手帳や年金証書など）をご準備ください。



健康な口を目指します

市では、「お口の自己管理ができるようになるうー」を目標に歯科保健活動を行っています。その中で、むし歯予防の一つとして、平成28年度から5歳児を対象に園でフッ化物洗口を開始し、続いて平成29年度から小学校でも実施しています。開始から3年目の現在は、小学2年生の児童までがフッ化物洗口をしています。



◆フッ化物の働き

- ・歯の表面を丈夫にします
- ・溶けかけた歯の表面を修復します
- ・むし歯菌が酸をつくり出すのを抑えます



- ① 磨き残しのない歯磨きをする
- ② 甘味制限を心がける
(お菓子やジュースを控える)
- ③ 定期的な歯科健診を受ける
- ④ フッ化物の利用

◆むし歯にしないための4つのポイント！

大腸がん検診(集団) 受診はお済みですか？

日時：2月28日(木)
9時30分～14時

回収場所：安曇川保健センター
健康推進課

対象：40歳以上の方
料金：500円

本年度ラストチャンスです！

まだ容器を持っていない方は事前に健康推進課または各支所窓口で受け取ることができます。

なお、医療機関での受診は3月30日(土)まで可能です。今回、都合の合わない方は、市内各医療機関で受診してください。



☎ 地域包括支援課 (地域包括支援センター) ☎ (25) 8150
FAX (25) 8054

あんしん 元気生活

生活支援コーディネーターの活動紹介

住民主体の支えあいの充実をめざして

ひとり暮らしの高齢者や認知症高齢者など日常の買い物や外出、ゴミ出しなど手助けや支援を必要としている人が増えています。市では、安心して地域で生活が続けられるように、医療や介護の公的サービスと合わせて、ちょっとした困りごとを住民が主体となって地域で支える仕組みづくりを進めています。

●生活支援コーディネーターをご紹介します！

- 熊谷 智香子さん
(高島市社会福祉協議会)
- 吉見 恵理子さん
(たかしま市民協働交流センター)



- 主な活動は？
- ① 地域社会資源の調査
公的サービスや民間サービス、ボランティア活動や地域介護予防の集まり、サロン、居場所などを広く地域社会資源といえます。市内でどのような地域社会資源があるのか取材や調査しています。
- ② ニーズ把握とサービスの調整
高齢者がどのような支援を必要としているかニーズを把握します。その上で、今あるサービスにつなげたり、サービスが不足している場合はそれをつくり出すために話し合ったりします。

☆地域の中での住民同士の支えあいの活動が少しずつ広がっています！
地域社会資源の取材を進め、冊子にまとめる予定です。人や資源、地元商店や企業などを巻き込んだ地域のネットワークをつくり、誰もが住みやすい市を目指します。